

弥富市地域公共交通計画の見直しについて

(1) 検討状況について

令和6年度の第4回協議会で協議いただいた、市内公共交通の問題点・課題を踏まえ、(仮称)弥富市地域公共交通計画(改定版)に関する以下の項目の案を検討しました。各項目の検討内容は資料7の通りです。

- ▶ 計画期間と計画区域
- ▶ 基本理念
- ▶ 基本理念に基づく基本方針
- ▶ 基本方針に基づく将来の公共交通網(イメージ)
- ▶ 基本方針に基づく目標と数値指標

(2) 策定までのスケジュール

策定までのスケジュールは以下のとおりです。

次回の協議会で評価指標の具体的な基準値・目標値や基本方針に基づく交通施策や具体的な取組みを協議します。その後、12月に開催予定の協議会で協議を重ね、年明けにパブリックコメントを実施し、2月末に開催予定の協議会で最終審議を行います。

協議会での最終審議後に運輸支局へ変更認定申請を進達し、3月下旬に国の認定をいただく予定です。

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 基本理念や基本方針、目標と数値指標の検討	基本理念や基本方針の検討		協議	目標と数値指標の検討			協議					
			第1回				第2回					
2. 基本方針に基づく交通施策の検討			交通施策の検討				協議					
							第2回					
3. 交通施策の具体的な取組みの検討				具体的な取組みの検討			協議	継続検討	協議			
							第2回		第3回			
4. パブリックコメントの実施									準備	実施	報告・策定	
											第4回	
5. 運輸支局への手続き									運輸支局に変更認定申請			計画認定
6. 弥富市地域公共交通活性化協議会											最終審議	
			第1回				第2回		第3回		第4回	

【参考】市内の公共交通の問題・課題（昨年度第4回協議会より）

表：問題点・課題

- A：高齢者も使いやすい生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要** 【現況①③④⑨⑩⑬】
- 今後の高齢化社会の進展や運転免許返納者の増加に対応するため、高齢者が安心安全に移動でき、気軽に外出できるような環境を形成するため、高齢者も使いやすい生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要
 - 高齢者が1人でも公共交通を利用して気軽に外出ができるよう、誰もが使いやすい公共交通体系の構築と分かりやすい周知が必要
- B：公共交通空白地や人口減少、社会情勢の変化に対応した生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要** 【現況①③④⑧】
- 定住者を確保し人口の減少を穏やかにするため、利便性の高い生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要
 - バス停から離れている公共交通空白地などに住んでいる方々に対しても持続可能で効率的な生活交通サービスの提供が必要
 - 少子高齢化や人口減少、社会情勢の変化によって公共交通の担い手が不足する渦中で生活交通サービスを確保・維持するため、地域の交通資源の総動員や先端技術の活用を踏まえた公共交通体系の検討が必要である
- C：公共交通相互の乗り継ぎなどさらなる連携強化が必要**【現況②③④⑤⑥⑦⑩⑫】
- 鉄道やバスなど市内を運行する公共交通を活かし、より利便性の高い地域公共交通網とするため、ダイヤや料金、待ち合い環境、ICT化の推進などにより各公共交通相互の乗り継ぎの環境の向上を図るなど、相互の連携のより一層の強化を図ることが必要
 - 飛島公共交通バスや木曾岬町自主運行バスでカバーされている地域も存在することから、それら公共交通を活かし、乗り継ぎについても周辺自治体と連携することで、より利便性の高い地域公共交通網の形成が必要
- D：地域の実情や需要に応じた、効率的かつ効果的な公共交通体系の再構築が必要** 【現況①②③④⑤⑥⑦⑩⑪⑫⑬】
- 地域による公共交通の利用状況の違いや日常生活の目的地の違い等を踏まえ、それぞれの地域の実情や需要にあった運行形態の選択による持続可能な運行方法の確立が必要
 - 現在の公共交通の利用状況や今後の高齢化・人口減少等の社会情勢の変化を見据え、見合った投入額での公共交通の運行方法の検討が必要
- E：コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造などまちの将来像実現を支えるための公共交通網の形成が必要** 【現況①②③④⑬⑭】
- コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造などまちの将来像実現を支えるために、まちづくりと連携した地域公共交通網の形成を図るとともに、地域の特性や都市機能に応じた適切な公共交通の運行方法やサービスの提供が必要
- F：継続的な利用促進策の展開と情報を入手しやすい環境の形成が必要** 【現況①④⑤⑦⑪⑬】
- 現在展開している利用促進策等の取組みの継続的な実施と周知のほか、公共交通の果たす役割や重要性についても啓発することが必要
 - 鉄道や公共施設、商業施設、病院、観光施設などと連携したターゲットに応じた利用促進策の展開や、多様な媒体による情報を入手しやすい環境の形成を図ることが必要
- G：地域で守り育てる環境の構築と意識の醸成が必要** 【現況①⑧⑬⑭】
- 持続性のある生活交通サービスの確保・維持に重要となる地域住民の利用促進やサポートの推進、商業施設や病院、企業による協力が必要
 - 地域の集まりの場や協議会を活かした、存続に対する危機感等を共有する場の創出が必要
- H：福祉施策との連携が必要** 【現況①②③⑫⑬】
- 今後の高齢化社会の進展や運転免許返納者の増加が予想されている中、鉄道やバスなど既存の公共交通手段だけではすべての移動に対応することは困難であり、福祉タクシー料金助成事業ではカバーできていない需要もあることから、福祉施策と連携した対応が必要